



- 介護5
- 介護4
- ◐ 介護3
- ◑ 介護2
- 介護1
- 支援2
- 支援1

66	同・配偶者
34	同・嫁
54	別・子供
29	別・子供
35	同・子供
28	自身
1	別・子供

91	別・子供
1	別・子供

1	同・配偶者
101	同・子供
18	同・子供
105	同・子供
49	同・子供

99	同・子供
95	同・子供
15	同・CM
78	自身・CM

65	同・子供
52	自身
36	同・配偶者
77	自身
63	別・子供
21	同・嫁
98	同・子供
64	同・子供
17	同・子供
102	同・配偶者
100	同・配偶者

6	別・子供
11	同・息子
25	自身
1	別・子供

19	自身
16	同・配偶者
96	同・子供
60	同・子供

7	同・配偶者
68	別・子供
63	別・子供
70	同・子供
48	同・配偶者

59	別・子供
13	別・子供
67	別・子供
80	別・子供
43	CM

○ 別 = 本山町以外に住んでいる別居

在宅で居住する要介護認定者の現状（本山町）

通院介護の状況

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
中心部	6 (15%)	10 (24%)	8 (20%)	10 (24%)	5 (12%)	1 (2%)	1 (2%)	41
周辺部	3 (5%)	10 (17%)	12 (21%)	19 (33%)	5 (9%)	8 (14%)	1 (2%)	58
計	9	20	20	29	10	9	2	99

	本人	配偶者	同居子	別居子	同居兄弟	ケアマネ	社協職員	訪問診療	通院していない	計
中心部	11 (69%)	8 (38%)	9 (29%)	11 (44%)	1 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	1 (100%)	0 (0%)	41
周辺部	5 (31%)	13 (62%)	22 (71%)	14 (56%)	0 (0%)	1 (100%)	1 (100%)	0 (0%)	2 (100%)	58
計	16	21	31	25	1	1	1	1	2	99

	本人	配偶者	同居子	別居子	同居兄弟	ケアマネ	社協職員	訪問診療	通院していない	計
要支援1	6 (38%)	0 (0%)	1 (3%)	2 (8%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	9
要支援2	4 (25%)	4 (19%)	4 (13%)	6 (24%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	2 (100%)	20
要介護1	4 (25%)	2 (10%)	7 (23%)	6 (24%)	0 (0%)	0 (0%)	1 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	20
要介護2	2 (13%)	6 (29%)	9 (29%)	11 (44%)	1 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	29
要介護3	0 (0%)	5 (24%)	3 (10%)	0 (0%)	0 (0%)	1 (100%)	0 (0%)	1 (100%)	0 (0%)	10
要介護4	0 (0%)	3 (14%)	6 (19%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	9
要介護5	0 (0%)	1 (5%)	1 (3%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	2
計	16	21	31	25	1	1	1	1	2	99

本山町在宅要介護認定者調査から見てきた事項

◆家族構成について

- ・主な生活支援者や通院介護者が「別居子」の場合、その子ども以外に支援できる家族はいない。
- ・配偶者が支援していた場合、配偶者がいなくなった時は子どものところに行くことなく、ケアハウスや養護老人ホーム等の施設に入所をするパターンが多い。

・訪問診療、訪問看護の必要性について。
(独居での在宅生活を支える、介護者の負担軽減など)

◆入所前の介護者について

- ・同居の家族が介護を行っていた場合、入所する施設は特養。養護老人ホーム、ケアハウスレベルの介護状態では入所しない傾向。
- ・あまり介護が必要なかったにもかかわらず、遠方に住む家族が気になりだして養護老人ホーム、ケアハウスに入所させるというケースが多い。

◆自宅生活ができている人とできなくなる人とのターニングポイントについて

- ・子どもが県外にいる場合、県外では少しでも手がかりだしたらすぐに施設入所の申請を行うという発想がある。
- ・在宅の親に対し、「これ以上周りに迷惑をかけられないし、私たちにも心配をさせないでほしい」旨の話をして施設入所を説得させる。

→遠方の子どもによる入所への判断がターニングポイント

・施設の垣根をなくすための視点が必要。
(施設側だけでなく住民も)

- ・介護申請の際の共通の問題点として、①自宅に日光が入らない、②外トイレ、外風呂、③家に密閉性がなく寒い、がある。

→冬場の生活に困難を来す住宅環境がターニングポイント

・施設と自宅を行ったり来たりできるしくみがあれば。
・冬場だけ過ごせる「越冬ハウス」はどうか。